

エズラ記とネヘミヤ記という回復の書の中心的で極めて重要な点——

主の回復の正しい適切なリーダーシップ

聖書：ネヘミヤ 8:1-10. 13:14, 29-31.

マタイ 20:25-28. 23:8-13. ヘブル 13:7

- I. 神の永遠のエコノミーにおいて、また主の回復において、リーダーシップは靈的能力にかかっています。リーダーシップは職務のもの、永久のもの、組織的なもの、階級制度のものではありません—— I テサロニケ 1:5. 2:1-14. 5:12-13. ヘブル 13:7, 17, 24 :
- A. リーダーシップに対する主の概念は、天然の概念と反対です。神の民の間に、実は天然の意味におけるリーダーシップはありません——マタイ 20:25-28. 23:8-13 :
1. 神の新約エコノミーにおいて、リーダーシップは奴隷の身分を意味します。リーダーになろうとする者はだれでも、進んで奴隷とならなければなりません——マルコ 10:35-45。
 2. リーダーシップは命における成長によって形成され、必要の結果です。もし必要がないなら、リーダーシップは現されることができません—— I ペテロ 5:1-3。
 3. リーダーシップに対する人の概念をわきに置くために、神が定めたのは、神の民の間のリーダーシップが、常に靈的能力にかかっているべきであるということです——使徒 13:2, 9. 14:12. ガラテヤ 2:11-14。
 4. 主の回復の中で組織化されたリーダーシップはなく、統一する組織はありません。そうではなく、一つのかしらがあってすべての肢体に直接、命令を与え、一つの有機体、すなわちからだがあります——エペソ 1:22-23。
- B. 新約によれば、使徒たちの権威は靈的であり、彼らの言葉の務めの中にあります——使徒 2:42. II コリント 13:5-6. I テサロニケ 2:13 :
1. 彼らには、召会の諸事に干渉する地位上の権威はありません。彼らが供給する言葉だけに権威があります——コロサイ 4:16. ヘブル 13:7。
 2. 諸召会が使徒たちに従うのは、使徒たちが新約の教えを持っているからです——ピリピ 2:12. 使徒 20:17-36。
 3. もし召会がそれたり誤導されたりするなら、使徒たちは義務と責任を持って、権威がある神の言葉にしたがってその状況を対処します—— 26-27 節. II コリント 10:6. II テモテ 1:13. 4:2。
 4. リーダーシップは使徒たちの教えの中で生み出され、強められ、制限されます——テトス 1:9。

C. 新約には一つの務めと一つのリーダーシップがあります——使徒 1:17, 25. II コリント 4:1 :

1. 今日のキリスト教が分裂しているのは、あまりにも多くのリーダーシップがあるからです。務めは一であるので、二つ以上のリーダーシップがあるべきではありません。
2. 一つのリーダーシップがあるのは、神、主、その霊がみな一であるからです。一つのリーダーシップは、キリストのからだのためにその霊の一を保つためです——エペソ 4:3-6。
3. 新約がわたしたちに見せているのは、務めの中で導く者たちにおける神の代理権威があり、この権威が建造のためであるということです——II コリント 13:10 :
 - a. 神の代理権威は、導く者たちの教えの中にありました——I コリント 4:17 後半-21. 7:17 後半. 11:2. 16:1. II テサロニケ 3:6, 9, 12, 14.
 - b. 至る所のあらゆる召会で同じ事を教えることは、パウロの代理権威の証明でした——I コリント 4:17 後半。

D. 新約の務めにおけるリーダーシップは、新約の教えに重きがあるのであって、新約の務めを導く者たち自身に重きがあるわけではありません——使徒 2:42. II テモテ 3:10。

II. 新約の務めにおけるリーダーシップとは、神の永遠のエコノミーの制御するビジョンのリーダーシップであって、制御する人のリーダーシップではありません。使徒パウロは、「わたしは天のビジョンに背かず」と宣言しました——使徒 26:19 :

A. 神の永遠のエコノミーは、使徒たちを通して明らかにされましたが、信者たちが神のエコノミーに対する正しい理解を失ったので、主によってそれが回復される必要があります。神の永遠のエコノミー（ギリシャ語、「オイコノミア(oikonomia)」は、神の家庭の行政であって、ご自身をキリストの中で彼の選ばれた人の中へと分与し、家を得てご自身を表現することです。その家は召会、キリストのからだです——エペソ 3:2, 8-9. I テモテ 1:3-4. 3:15. エペソ 1:10. 2:21-22. I ペテロ 4:10。

B. 「回復」は、破壊や損失を被った後、正常な状態に復興すること、あるいは戻すことを意味します。「回復」が意味するのは、神の永遠のエコノミーの内容の、回復の現在の進展にしたがって、聖書に啓示されている神の当初の意図と標準に戻ることです :

1. 主の回復は、肉体と成ること、包括、強化の満ち満ちた務めにおいて、キリストをわたしたちの中心、実際、命、すべてとして回復することです——コロサイ 1:17 後半, 18 後半. 詩 80:1, 15, 17-19. ヨハネ 1:14. I コリント 15:45 後半. 啓 2:4-5, 7, 17. 3:7-8, 12-13, 17-22. 4:5. 5:6. ヨハネ 6:57. 14:21, 23. 21:15-17. 参照、エレミヤ 32:39.
 2. 主の回復は、キリストのからだの一を回復することです——ヨハネ 17:11, 21-23. エペソ 4:3-4 前半. 啓 1:11.
 3. 主の回復は、キリストのからだのすべての肢体の機能を回復することです——エペソ 4:15-16. ローマ 15:16. I ペテロ 2:5, 9. I コリント 14:1, 4 後半, 12, 26, 31, 39. エレミヤ 31:33-34 (参照、33 節のフットノート 1).
- C. このビジョンはわたしたちの中で日ごとに更新されて、わたしたちのすべての生活、働き、活動を制御するビジョンとならなければなりません——I ヨハネ 1:7. I ペテロ 2:9. イザヤ 2:5. 詩 119:105. 36:8-9.
- D. 人が主の回復を離れることは、主の回復とは何であるかを、彼が決して見たことがないことを意味します。もしわたしたちが主の回復のビジョンを見たことがないなら、わたしたちは実際的に主の回復にいないのです——使徒 26:13-19. 参照、創 13:14-18.
- E. わたしたちは主の回復の中で、神の永遠のエコノミーの明確なビジョンを持ち、そしてこのビジョンによって支配され、制御され、方向づけられなければなりません。なぜならわたしたちはここにおいて、主の回復の中で神の永遠のエコノミーを遂行しているからです。
- F. 主の回復におけるリーダーシップは、神が与えた神の永遠のエコノミーのビジョンのリーダーシップです。このビジョンはわたしたちを制限し、方向づけ、制御して、混乱と分裂を避けるようにします——箴 29:18 前半。
- G. 「時代のビジョン」からの補充を読んでください。
- III. エズラ記とネヘミヤ記という回復の書の中心的で極めて重要な点は、正しい適切なリーダーシップです——ネヘミヤ 8:1-10 :
- A. わたしたちは主の回復の中で、ビジョンをもたらす人たちを通しての、一つの務めにおける一つの制御するビジョンのリーダーシップを持っています——エペソ 3:3-5, 9. コロサイ 1:24-29 :
1. パウロは、彼と彼の同労者たちが、「キリストのしもべ、また神の奥義の執事」と言いました (I コリント 4:1)。彼らは執事であり、神の奥義の天のビジョンを信者たちに分与しました。これらの奥義は、神の

奥義としてのキリストと、キリストの奥義としての召会です(コロサイ 2:2. エペソ 3:4. 5:32)。この分与する奉仕、執事職は使徒たちの務めです(3:2, 8-9)。

2. 「執事たちに求められるのは、忠信であることが現れることです」(I コリント 4:2)。わたしたちはパウロのように、「主のあわれみを受けて忠信である者」(7:25 後半. I テモテ 1:12)である必要があります。それは、わたしたちが忠信な奴隷であって、習慣的に神の家族の者に霊の食物を与え、神とキリストの言葉を命の供給として召会の中で、信者たちに供給することができるためです(マタイ 24:45-47)。わたしたちは、この時代における主の働きに対して忠信である者となることを願います。それは、わたしたちが次の時代に主の喜びにあずかり、主の評価と褒賞がわたしたちの働きの大きさや量とは関係がなく、彼の賜物を極みまで用いるというわたしたちの忠信さと関係があるという認識を持つためです(25:21-23. 参照、啓 3:8)。
- B. ネヘミヤやエズラのような忠信な人のリーダーシップの下でのみ、イスラエルは再構成されて神の証し、地上での神の表現、異邦人の諸国とは完全に異なっている民となることができました。これは、召会がそうなるように、神が今日願っているものの予表です——ネヘミヤ 13:14, 29-31. I テモテ 3:15。
- C. ネヘミヤは、エズラがいなければ、神の民を再構成することができないことを知っていました：
 1. 国民を再構成することで、ネヘミヤは神の御言を知らないことを認識しました。
 2. エズラは、神の御言に対する知識のゆえに有名でした。ネヘミヤは、進んでエズラに向いて助けを求めました。
- D. 神聖な原則によれば、からだの正常な代表は常に、他の人と組み合わされる人たちによります——I コリント 1:1. 出 4:14 後半 -16：
 1. 単独であることは個人主義的ですが、他の人と共に遣わされることは、からだの原則にしたがって遣わされることです——ルカ 10:1. 使徒 13:1-3. ローマ 12:5. I テサロニケ 1:1。
 2. 単独で行動することは、からだの原則を破壊することです。
 3. 主の回復の中で緊急の必要があり、それはからだを建造するという真の働きです。しかしながら、この建造する働きは、ただ、組み合わされている同労者たちによってのみ遂行されることができます——ピリピ 2:19-22。

E. 「主は、ブレンディングされた方法で、わたしと共に奴隷仲間として奉仕する多くの兄弟たちを準備してくださったことを、わたしに示してくださいました。わたしはこの事が、彼のからだのための主の主権ある備えであり、また彼の務めを完成するための最新の方法であると感じています」——ウイットネス・リー、1997年3月24日(ウイットネス・リー全集、1994年—1997年、第5巻(下)、「感謝を伴う交わりの手紙」、314ページ)。

「時代のビジョン」からの補充：

この時代の全体的なビジョンに緊密に従う

今日わたしたちが神に仕えるために、わたしたちのビジョンは、創世記におけるアダムの第一のビジョンから、召会の現れである新エルサレムの究極のビジョンまで、ひたすら延びていなければなりません。これが、そしてこれだけが全体的なビジョンです。今日になってはじめて、このビジョンは完全にわたしたちに開かれました。

台北の国立故宮博物館には、「清明上河圖」と呼ばれる長い巻物の絵があります。それは、その絵の時代における中国の人々の文化、生活、様式を詳細に描写しています。その長い巻物の最初の部分を見るだけでは十分ではありません。一方の端から他の端まで行ってはじめて、中国の生活の全体像の明確な絵、あるいは「ビジョン」を持つことができます。同じようにわたしたちは、神に仕えることで自分たちの絵、すなわちわたしたちの「清明上河圖」を持っています。それは、エデンの園における命の木のアダムのビジョンから始まり、命の木のある新エルサレムにまで至ります。新エルサレムはビジョンの最後の光景です。その後には、何も見るべきものはありません。

……わたしたちは、前の光景すべてを含む最後の光景にしたがって、神に仕えているのです。……

わたしたちは最新の究極のビジョンを持っているので、それに緊密に従うべきです。わたしたちは絶対に人に従っているわけではありません。そうではなく、わたしたちはビジョンに従っているのです。わたしたちがある人に従っていると言うことは、大きな間違いです。わたしたちは現在の時代に属するビジョンに従っています。それは神の究極的に完成されたビジョンです。

主の回復は、わたしたちの愛する二兄弟を通してわたしたちにもたらされました。このゆえに彼は攻撃的になりました。1934年に彼は杭州で結婚しました。ある人はこの機会をとらえて嵐を引き起こしました。彼はとても悲しんでいまし

た。そこでわたしはある日、彼の所に行って彼を慰め、こう言いました、「ニー兄弟、わたしたち二人の間には何の天然の関係もないことを、あなたをご存じです。わたしは、あなたとの天然の友情からあなたが取っている道を取り、あなたが宣べ伝えている事を宣べ伝えているではありません。わたしたち二人は互いに遠く離れています。わたしは北方の人であり、あなたは南方の人です。今日わたしが同じ行程を取っているのは、人としてあなたに従っているからではありません。わたしは、あなたが取っている道に従っているのです。ニー兄弟、ある日あなたがこの道を取らなくなったとしても、わたしは依然としてこの道を取ることを、あなたに知っていただきたいと思えます」。わたしがこう言ったのは、嵐に影響されて、ある人たちがもはやこの道を取らないと決定したからです。言い換えれば、多く人は人に従っていたのです。その人が変わったように見えると、彼らは向きを変えてしまいました。しかし、わたしはニー兄弟に言いました、「ある日あなたがこの道を取らなくなったとしても、わたしは依然としてこの道を取らうでしょう。わたしはあなたのゆえにこの道を取っているではありません。また、あなたのゆえにこの道を去ることはしません。わたしは、これが主の道であることを見たのです。わたしはビジョンを見たのです」。

五十二年が経過しました。今日わたしは、自分が行なった事すべてを悔いていません。わたしは過去五十二年間、同じ物語が繰り返されるのを見てきました。ある人々は、来ては去りました。一つの光景が変化して、別の光景がやって来ました。台湾での働きの始まり以来、過去三十年間、わたしたちはいくつかの大きな危機に見舞われました。わたしが救いに導き、わたし自身の訓練を経過した兄弟たちでさえ、主の回復を離れました。ビジョンは決して変わっていませんが、人は実に変わってしまい、ビジョンに従う人たちも変わってしまいました。わたしは心の底から、あなたがたすべてに冷静な言葉を言いましょ。主のあわれみによって、わたしは今日ここに立って、あなたがたをこのビジョンにもたらすことができます。わたしは、あなたがたが人としてのわたしに従っていないようにと望みます。わたしは、あなたがたが主のあわれみによって、わたしが見たビジョンに従っていることを望みます。……

わたしはあなたがたに一つの事実を話したいと思えます。主がわたしにビジョンを啓示されたのは、主のあわれみです。わたしに従うのではなく、ニー兄弟や各時代の主のすべてのしもべがわたしたちに残し、わたしがあなたがたに手渡したビジョンに従うようにと、わたしはあなたがたに勧告します。これは実に、アダムの最初の光景から新エルサレムの最後の光景にまで至るビジョンです。(第2章)